

# 2024年6月期 概況ご説明

ECCグループ方針

2024年8月21日

# 代表取締役社長 水落 憲吾

# 基本方針

## 経営理念

至誠を以て  
経営の正道を歩む

## 志・あやなろう

- ・良い言霊で響きあおう
- ・世の中の素晴らしい人たちに  
たくさんあおう
- ・仲間を優しく、思いやろう
- ・雰囲気を作る人になろう
- ・今を大切に出来る人になろう

## 企業理念

我々に関わる全てに感謝し、  
事業活動を通じて  
期待や要請に応え、  
社会的責任を果たしていく



## VISION

私たちは人財を活かし、  
人と自然が共生する  
「ありがとう」があふれる  
社会を目指します



## MISSION

私たちが持つ知見や技術を  
多様な領域に展開し、  
共感しあえる「仲間」と  
社会課題の解決に貢献します



# 災害支援(能登半島地震)

一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会より

令和5年度「令和6年能登半島地震」災害廃棄物処理支援業務を受託



# 2030年に目指す姿

2030年に向けた長期的方向性

## 01 人的資本経営の推進

- 愛・感謝・調和
- タレントマネジメントと後継者育成
- 健康経営の実践

## 02 利益成長

- 成長分野に対する資本の集中投下
- M&A、DX 投資、開発投資等の推進

## 03 積極的な情報開示と株主還元への推進

- 財務情報や事業活動等の積極的なWeb発信
- 長期的な利益成長による安定した株主還元

売上高

100億円

時価総額

100億円



地域社会

株主・投資家

収益の安定性の強化や、中長期的な利益成長を図り、株主への安定的な還元を目指します

# 一人財育成

## 階層別研修やサイバーセキュリティ講習等人財育成に注力



# — 将来にむけて



エコプロ2023

八王子市環境フェスティバル



こども参観日

# 代表取締役専務 清水 重雄

株式会社 環境管理センター

# 中期経営計画 概要

2025年6月期～2027年6月期

01

第1次中期経営計画 振り返り

02

第2次中期経営計画 方針

03

第2次中期経営計画 重点施策

# 第1次中期経営計画 業績の振り返り

売上高については達成。経常利益は経費の高騰等の要因で計画を下回る結果に

単位:百万円

		2022年6月期			2023年6月期			2024年6月期		
		計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
売上高	連結	4,700	4,748	101%	4,800	5,343	111%	5,000	5,594	112%
	単体	-	4,375	-	-	4,139	-	-	4,513	-
経常利益	連結	270	113	42%	300	50	17%	350	326	93%
	単体	-	122	-	-	60	-	-	291	-
親会社株主に 帰属する当期純利益		-	222	-	-	△41	-	-	218	-

# 第1次中期経営計画 重点施策と取り組み状況

## 重点施策

## 取り組み状況

### 成長分野の拡大

- ・株式会社サンエイテクニクス グループインによる工事業務の拡大
- ・ソリューション事業部設立により一貫体制によるソリューションを提供
- ・農業環境ラボの改修・人員補強による生産体制の構築及び圃場GLP認定による試験業務の拡大
- ・組織改編によるアスベストの対応力強化

### 基盤分野の強化

- ・自動化(土壌溶出液自動作成装置)やQRコードの活用
- ・DX推進(工数進捗管理、調査分析指示システム、チャットボット)による業務の効率化

### 新規事業の推進

- ・省エネコンサル
- ・環境配慮商品販売(MIRAI-LABO社商品)
- ・不動産事業(環境配慮型住宅)
- ・新事業開発室の設立(ARCH、MDBの活用)

### 働き方改革と多様な人財の活用の推進

- ・人財育成(定期研修制度の実施、研修施設:軽井沢ベースの設置)
- ・SRA拡充による、リモートワーク等柔軟な働き方を推進
- ・健康経営の推進(健康経営宣言、各種施策)

### 社会貢献

- ・スポンサー活動(スポーツ団体、日本フィルハーモニー 他)
- ・地域貢献(こども食堂、環境教育、イベント協賛、企業版ふるさと納税)

# 第1次中期経営計画 課題

当社の持続的成長に向けた資本コストや株価を意識した経営が課題となる

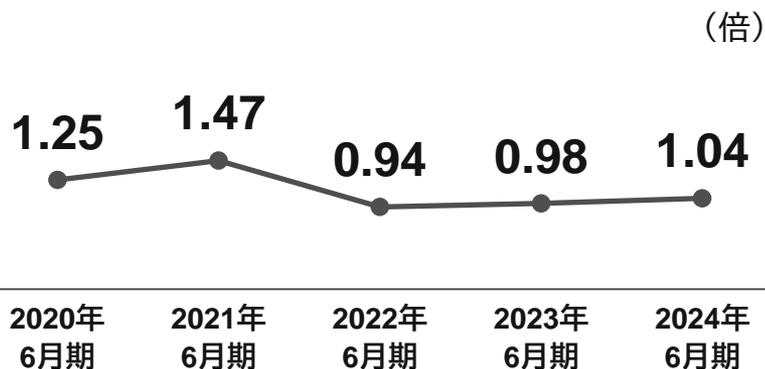
## 現状分析

- 株式の流動性が低く、PBRは安定して1倍を超えていない
- ROEは、2023年6月期を除き、市場の求める株主資本コストを上回ることができている
- 時価総額が小さく機関投資家の投資対象になりにくい

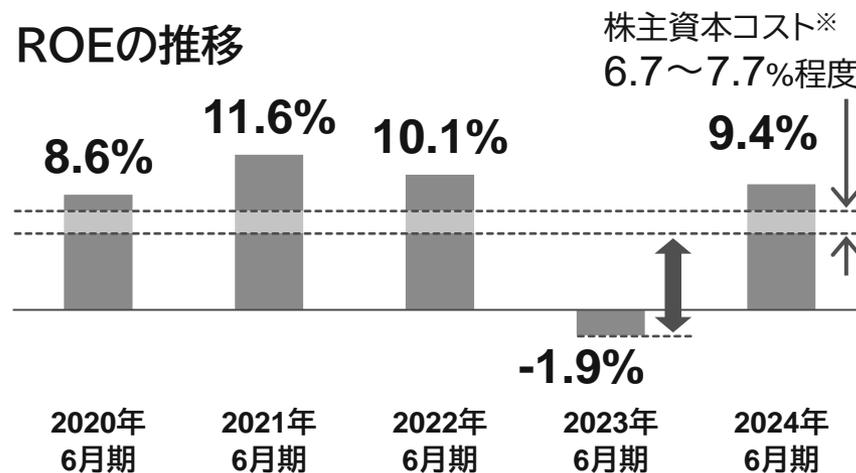
## 課題

- 収益の安定性強化が必要
- 積極的な情報発信により、事業・成長戦略に対する理解を得る必要あり

## ■ PBRの推移



## ■ ROEの推移



※CAPM理論に基づく当社の株主資本コスト(参考値)の算出: リスクフリーレート(0.5%程度) +  $\beta$  (1.03) × 市場リスクプレミアム(6~7%)

01

第1次中期経営計画 振り返り

02

第2次中期経営計画 方針

03

第2次中期経営計画 重点施策

# 位置付け

第2次中期経営計画は、重点施策の実行による収益の拡大と、持続的な成長を可能にするための新たなビジネスに挑戦

## 第一次

### 体制構築

2022年-2024年



- 選択と集中の推進
- 生産体制の強化
- 事業領域の拡張
- 働き方改革

## 第二次

### 拡大・進化

2025年-2027年



- 体制再編/人財強化/待遇改善
- DX推進
- パートナー企業拡充
- 環境コンシェルジュとしての立ち位置を確立
- 新規分野への挑戦

## 第三次

### 次世代創造

2028年-2030年



- 事業領域の拡大
- 新たなビジネスモデルの創出
- 人財創造

現在の姿(2024年)

売上高 **55億**  
時価総額 **25億**

2027年に目指す姿

売上高 **70億**  
時価総額 **50億**

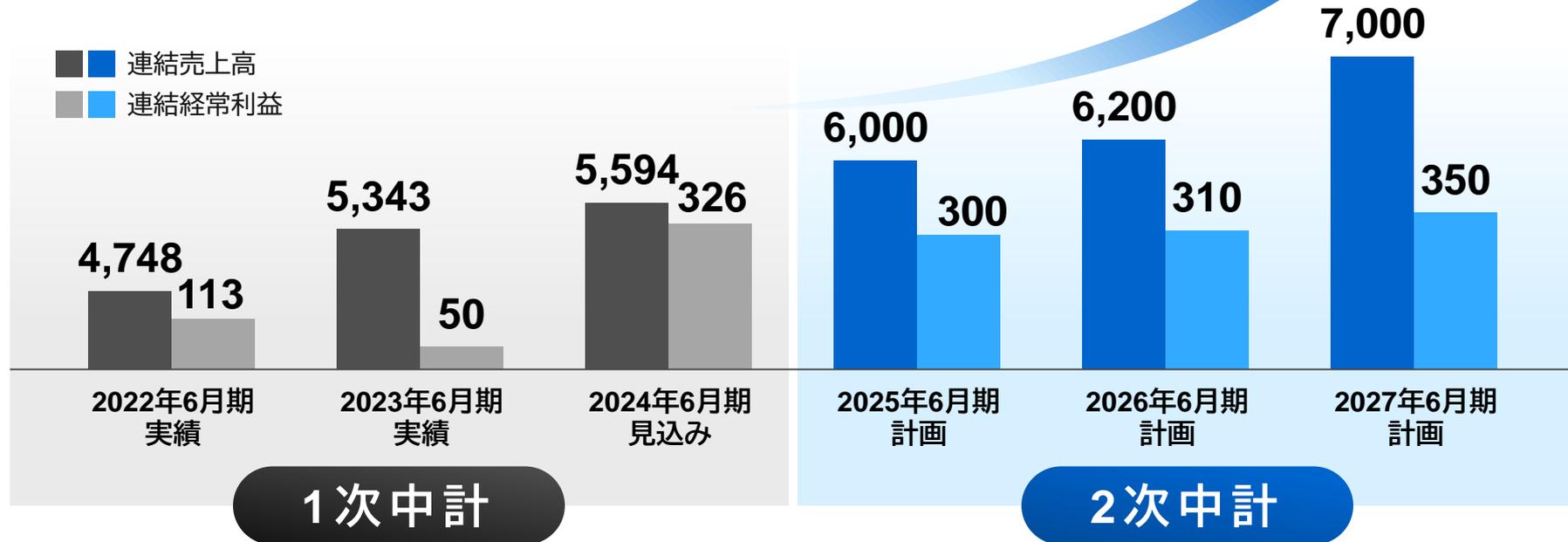
2030年に目指す姿

売上高 **100億**  
時価総額 **100億**

# 業績目標

事業分野の選択と集中を進め、人的資本効率の向上による収益の拡大と新規分野への挑戦により更なる企業価値の増大を目指す

## ■ 連結売上高と連結経常利益の推移



ROE

安定的に**10%**を維持

持続的に株主資本コストを上回る水準を目指す

PBR

**1.2倍以上**

配当性向

**30%**

01

第1次中期経営計画 振り返り

02

第2次中期経営計画 方針

03

第2次中期経営計画 重点施策

# 重点施策サマリ

- 01 人的資本価値向上
- 02 新規事業の推進とDX戦略
- 03 成長分野の拡大
- 04 基盤分野の最適化
- 05 社会貢献



# — 人的資本価値向上 方針

“あやなろう”の精神のもと、人財育成・活用・交流等の推進により、**無形の価値を最大化**させることで企業価値向上を目指す

## 多様な人財の活用

- 変化し続ける社会や多様な価値観に柔軟に対応する為、性別・年齢・国籍・人種・個性など、多様な人財が活躍できるよう推進する

## 人財育成

- 教育・研修により、知識・スキルの向上に加え、社員の意識改革、コミュニケーションの醸成を促し、社会に必要とされる人財を育成する

## ECCグループ内の人財交流

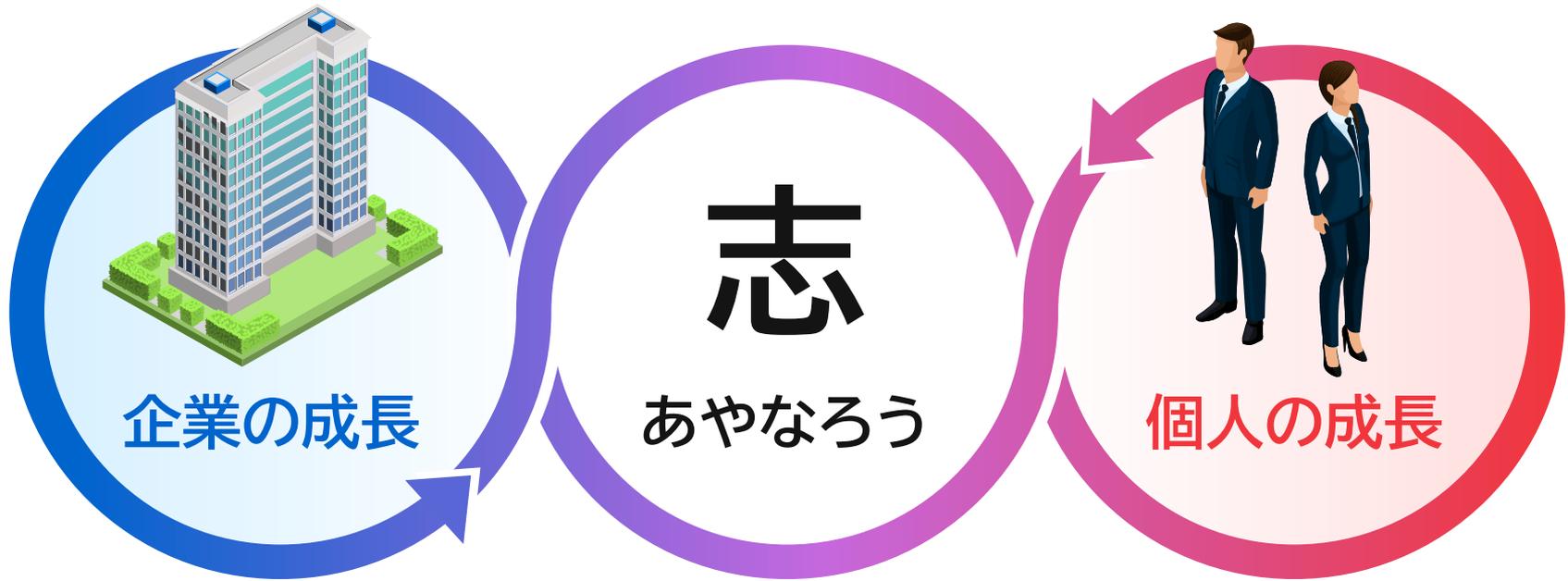
- グループ内の人財交流を推進し、我々が培ってきた技術・経験を共有するとともに、コミュニケーションを活性化させる

## 健康経営

- 全ての従業員に対し適切な健康管理の実施や職場環境の整備を行い、社員がいきいきと働き続けることができる会社を目指し、個人と企業の成長につなげていく

# 無形の価値最大化による企業価値向上

## 企業価値向上



### 多様な人財活用

### 人財育成

### 人財交流

### 健康経営

- 女性活躍推進「えるぼし」認定継続
- 次世代育成支援「くるみん」認定
- 障がい者雇用

- 次世代人財育成
- 階層別研修
- 若手社員の積極的登用
- リスキリング

- 社内イベント
- グループ企業 業務連携

- 「健康経営優良法人」認定
- メンタルヘルス対策

# 新規事業の推進とDX戦略 方針

外部連携を積極的に進め、当社の強みを発揮できる分野を中心に、  
新規事業に積極的に取り組む

## 大きな市場に チャレンジ

- 大規模市場のうち、未開拓領域（「まちづくり事業」「海外事業」※）への参入 ※詳細後続

## ゼロからイチへの チャレンジ

- 社内ベンチャーの立ち上げ、他社との共創、産学連携等を通じて新規事業を推進

## DX戦略

- 環境センサー / データ活用を基軸にビジネスモデルの改革を推進

## MA事業

- 成長と競争力強化に向けた事業領域の拡大

環境に配慮しながら経済性や人の心の豊かさも両立できる持続可能な街づくりに取り組む

## 環境×不動産

環境コンシェルジュと不動産事業を掛け合わせた人と自然の共生空間の創造



- 環境シティ
- 生態系保全／ネイチャーポジティブ
- 里山保全再生
- 自然環境活用

## 快適健康住宅・オフィス

快適健康住宅・オフィス提案と地域・街を創生する防災、省エネ性能を有する街づくり



- 目に見えない感覚をセンサー / IOTで可視化
- 環境データから地域 / 街を創る仕組みづくり
- 人の心の豊かさまでも向上させる住環境

海外での活動を活発化し、環境に配慮した社会づくりに取り組む

## クロスアジア戦略

各拠点間での交流を活発化しアジアの環境問題解決に挑む



## 海外での人財育成

自国の環境を自ら守れる仲間を増やす



## 新規事業の創出

海外フィールドでの実証と新規ビジネスへのチャレンジ



全国恶臭污染测试与控制  
暨恶臭监管与治理高峰论坛  
2018年11月 中国·北京



# 成長分野の拡大 方針

成長分野である、政策コンサル・受託試験・工事・アスベスト・アセスメント・農業に加え「省エネ」を注力する分野に位置づけ、成長戦略をはかる

## 収益の拡大

- ・ 人的資本効率の向上により収益性の拡大を推進

## 選ばれる会社へ

- ・ 環境コンシェルジュとしてお客様の事業推進に寄与

## 業務拡大

- ・ 「防災・減災」「快適環境創造」「温暖化適応策」など、既存の当社技術にとらわれることなく、業務の幅を拡大

## グループ企業 価値の最大化

- ・ ECCグループ企業間の連携を強化

より良い環境を未来へ残すための、人・社会・地球を守るための仕組みづくりを推進

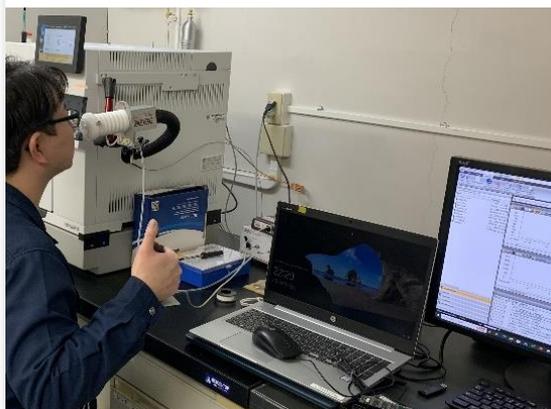


- 産・学・官の連携を主導、統合的な問題解決の促進
- 地域や国全体を持続可能にしていく「自立分散型社会」の実現
- 人の命と健康に目を向けた社会基盤の整備
- 海外拠点(KES・同擘)を軸とした、国際的な環境課題の解決
- 人財開発(環境リーダー)を活かした環境コーディネート型ビジネスの主導的展開

お客様のあらゆるニーズに我々が培ってきた評価技術・知見で応える

## オーダーメイド試験

お客様の製品や技術開発、性能検証、訴求証跡、課題解決等のあらゆるフェーズでコンサルティングを含めた試験設計を提供する



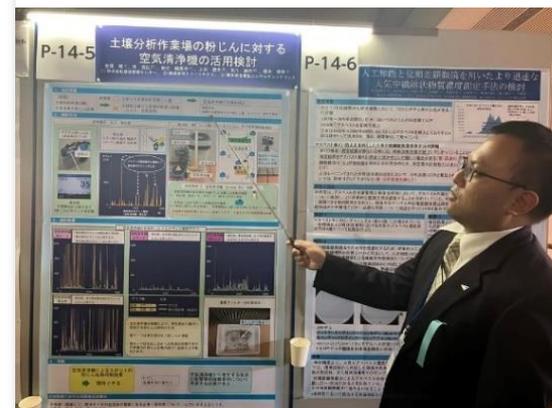
## 環境課題に資する 技術開発

未規制物質の新規分析法開発、環境浄化技術検証、センサー等を用いた環境計測等、産官学と連携して取り組む



## 研究機関登録

文部科学省研究機関の登録による研究推進、各種研究成果の公開による社会貢献を行う



長年培ってきた技術と経験を活かし、インフラの整備や環境改善工事による快適環境の構築に注力

## 設備工事

生命に関わるインフラを構築し、人々の暮らしを快適にする安心で安全な設備を提供



給排水・空調設備

防災設備

## 環境対策工事

- ・ マイナスからゼロへ向かう「環境修復」から、ゼロからプラス、より快適な環境をつくる「価値創造」を提供
- ・ ブラウンフィールドの有効活用



土壌

アスベスト

## 農業試験を通して将来の食料自給率や生産性の向上に貢献する

- ・ 室内試験から実用化段階の圃場試験までをオールインワンでサポート
- ・ 農薬GLP、線虫対策、バイオスティミュラント(BS)における商品・サービスの提供や他社共創により新たな価値の創造

## 農業環境ラボ

- ・ 室内試験で資材や肥料の効果を実験的に検証
- ・ 植物のストレス軽減確認などオーダーメイド試験が実施可能



## 筑西試験農場

- ・ 農業資材を実圃場レベルで評価
- ・ 自社圃場でお客様のオーダーに合わせたきめ細やかな試験対応が可能



## 鯉淵学園

- ・ 提携圃場として鯉淵学園農業栄養専門学校と連携
- ・ 農業の専門家を通じて試験受託に限らないトータルソリューションを提供

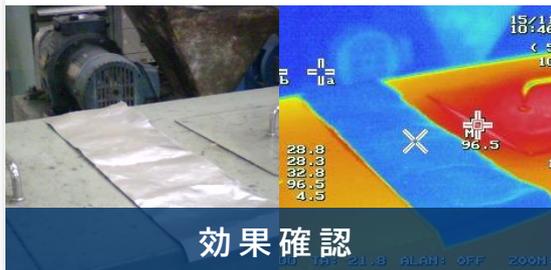


お客様とともに持続可能な社会に向けて最低限のエネルギーで快適環境の実現を目指す

- お客様へのソリューション提供によるCO2削減推計(累積) 30,000t
- 最低限のエネルギーで快適環境を実現
- 快適環境構築を通じて働き続けたい環境作り
- お客様とともに持続可能な社会へ

## 遮熱

遮熱シートを使った省エネ  
+暑さ対策



効果確認

## 蒸気改質

過剰なドレン排出を抑えて、  
消費燃料を削減



施工前

施工後

## 地中熱利用

地中熱を利用し、  
年間通じて安定した調温



施工前

施工後

# — 基盤分野の最適化 方針

環境コンシェルジュとして、お客様の課題解決に取り組むことで他社との差別化を図る

変化する市場に  
対応する人財

- 応用技術へのシフト
- 基盤分野における環境コンシェルジュとしての役割の確立

人的資本を意識した  
収益性の拡大

- 人財への投資による生産性 / 技術力の向上と活用

市場に求められる  
生産ラインの選択

- 市場と業界内の動向に応じた商品の選択と付加価値の向上

DXの推進

- 社内に蓄積されたデータの活用
- センサー技術の適用と深化
- 業務プロセスの最適化

# 社会貢献 方針

社会の持続可能な発展なくして、企業の存続は図れないため地域社会を盛り上げ、ともに発展する企業を目指す

## スポーツ団体 への支援

- ・スポンサー活動を通じて若者の夢を応援  
(各種スポーツ団体、東京都障害者スポーツ協会)

## 地域社会への 参画

- ・イベントの参加や協賛等により地域を活性化

## 将来世代への 啓発活動

- ・イベントへの参加や講師派遣等を通じて、子どもたちの環境への興味 / 理解を深める活動を推進

# 情報発信

SNSを活用し当社の取り組み等を広く社会に発信する。  
50年先へつなぐブランディングを推進する。

Facebook



YouTube



Instagram



X(Twitter)



ECCブログ



YouTube:再生回数 1.9万回



X(Twitter):フォロワー数 5,140



“

目指す未来像

100億円を目標と言える  
企業に成長したい。

”

そして、一人でも多くの人から「ありがとう」をいただけるように、  
私たちは仲間とともにあらゆる課題の解決に取り組みます



# 取締役(法務・財務管掌) 浜島 直人

## 2024年6月期の概況

(百万円)	22/6期 (連結)	23/6期 (連結)	24/6期 予 (連結)	24/6期 (連結)	予実比 (連結)
受注高	4,682	4,951	5,400	6,785	1,385
売上高	4,748	5,343	5,400	5,594	194
- 売上原価	3,705	4,147	4,100	4,133	33
売上総利益	1,042	1,195	1,300	1,461	161
- 販売管理費	929	1,143	1,100	1,131	31
営業利益	113	52	200	329	129
経常利益	113	50	200	326	126
税前利益	114	46	200	307	107
当期利益	222	△41	120	218	98
営業費用計	4,634	5,290	5,200	5,265	65

## 貸借対照表、1株当たり指標等の推移

B/S (百万円)	22/6月期 (連結)	23/6月期 (連結)	24/6月期 (連結)
流動資産	2,042	1,597	2,031
固定資産	3,691	3,646	3,571
流動負債	1,757	1,448	1,754
固定負債	1,690	1,560	1,415
純資産	2,286	2,234	2,432
総資産	5,734	5,243	5,602
自己資本比率	38.4%	40.7%	41.6%

1株当たり指標等	22/6月期 (連結)	23/6月期 (連結)	24/6月期 (連結)
1株当たり 当期純利益	47.34円	△8.81円	46.26円
自己資本 当期純利益率	10.7%	△1.9%	9.8%
1株当たり純資産	465.86円	451.81円	493.39円

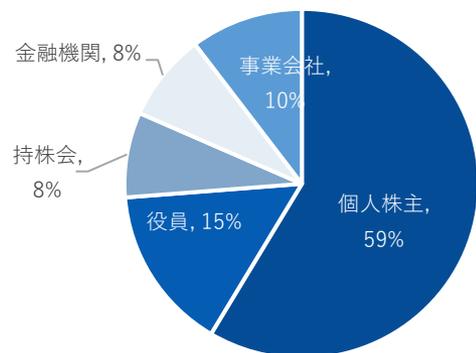
## 商品別（新区分）売上高の推移

(百万円)	23/6月期 (連結)	24/6月期 (連結)	25/6月計画期 (連結)
政策コンサル	851	765	710
アスベスト	474	430	450
受託試験	231	239	260
工事	957	890	1700
アセスメント	382	697	600
農業	60	69	80
放射能	148	288	120
土壌・地下水	890	892	900
廃棄物	432	337	340
作業環境	232	229	230
施設事業場	417	477	440
環境監視	198	225	150
出向・派遣	65	50	20
その他	-	-	-
合計	5,343	5,594	6,000
受注高	4,951	6,785	5,700
- 期末受注残	2,149	3,339	3,039

## 2024年・2025年6月期 利益計画

(百万円)	22/6期 (連結)	23/6期 (連結)	24/6期 (連結)	25/6期 (連結)
受注高	4,682	4,951	6,785	5,700
売上高	4,748	5,343	5,594	6,000
- 売上原価	3,705	4,147	4,133	4,515
売上総利益	1,042	1,195	1,461	1,485
- 販売管理費	929	1,143	1,131	1,175
営業利益	113	52	329	310
経常利益	113	50	326	300
当期純利益	222	△41	218	130
営業費用計	4,634	5,290	5,265	5,690

# 株主構成、株価推移



発行済株式数	4,722,305株
株主数	3,580人
売買単位	100株

大株主	持株数	持株割合
水落憲吾	546,168	11.6%
フィールド・パートナーズ	470,000	10.0%
従業員持株会	340,088	7.2%
水落阿岐子	182,700	3.9%
みずほ銀行	130,000	2.8%
明治安田生命	100,000	2.1%
多摩信用金庫	90,000	1.9%



# 環境ビジネスの市場規模

## A. 環境汚染防止分野

市場規模

<b>大気汚染防止</b>	
- 大気汚染防止用装置・施設	12,978
<b>下水、排水処理</b>	
- 下水排水処理用装置・施設	21,370
- 下水、排水処理サービス	9,307
<b>土壌、水質浄化</b>	
- 土壌、水質浄化用装置・施設	235
- 土壌、水質浄化サービス	845
<b>騒音、振動防止</b>	
- 騒音、振動防止用装置・施設	1,140
<b>環境経営支援</b>	
- 環境測定、分析、監視用装置	256
- 環境測定、分析、監視サービス	1,486
- 環境コンサルティング	2,997
<b>化学物質汚染防止</b>	
- 汚染物質不使用製品	82,792

## B. 地球温暖化対策分野

市場規模

<b>クリーンエネルギー利用</b>	
- 再生可能エネルギー発電システム	30,095
- 再生可能エネルギー売電	27,557
- 再生可能エネルギー設備管理	5,611
- エネルギー貯蔵設備	11,493
<b>省エネルギー化</b>	
- 省エネルギー建築	118,517
- 省エネルギー電化製品	18,224
- 省エネルギー型ユーティリティ機器	3,857
- 省エネルギー型ユーティリティサービス	2,133
- 省エネルギー輸送機関・輸送サービス	23,373
<b>自動車の低燃費化</b>	
- エコカー	131,885
- エコドライブ支援機器	200
<b>排出権取引</b>	
- 排出権取引	482

## C. 廃棄物処理・資源有効利用分野

市場規模

<b>廃棄物処理、リサイクル</b>	
- 廃棄物処理・リサイクル設備	5,114
- 廃棄物処理・リサイクルサービス	47,044
<b>資源、機器の有効活用</b>	
- リサイクル素材	105,763
- 資源有効利用製品	86,875
- リフォーム、リペア	197,899
- リース、レンタル	128,175
<b>長寿命化</b>	
- 長寿命建築	26,836

## D. 自然環境保全分野

市場規模

<b>緑化・水辺再生</b>	
- 緑化・水辺再生工事	1,503
<b>水資源利用</b>	
- 節水型設備	267
- 雨水利用設備	124
- 上水道	32,248
<b>持続可能な農林水産業</b>	
- 持続可能な農林水産業	44,178
<b>環境保護意識向上</b>	
- エコツーリズム	4,702
- 環境教育	1,260

※除染、アスベスト除去工事は上記に含まず ※緑字は当社が関連しているビジネス分野

環境省による2022年の市場推計（単位：億円）



## お問い合わせ先



株式会社環境管理センター  
経営企画室

〒193-0832 東京都八王子市散田町3-7-23



**042-673-0500**  
(平日9:00~18:00)

本資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。